

根鄉公民館

根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置しています。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味していますが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されており、先土器時代、縄文、弥生期の土器出土、住居址、古墳及び中世の城砦跡などが点在し、古来より住みよい所であったと思われまます。

中世は、上総一族の勢力下にあった印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、承平年間に千葉氏が支配するようになってから集落が点在しはじめ、現在のような村落が構成されたのは藩政時代に入ってからとなります。

明治22年4月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の9地区により根郷村が発足しました。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農村地帯でしたが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、さらにはJR佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっています。

地区内には、JR佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、さらに成田空港に近接する地の利を生かし、第1・第2・第3工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっています。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）、千葉敬愛短期大学があり、文教地区としての側面もあります。

根郷地区の面積は、市域全体の16.9%に当たる17.46km²、人口は14.2%に当たる24,948人ですが、今後は、独立行政法人都市再生機構施行による寺崎特定土地区画整理事業地（施行面積46.3ha、計画人口5,000人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、JR佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展しています。

根郷地区のデータ

【平成26年3月末現在】

- 根郷地区：面積 17.46 km² （佐倉市：面積 103.59 km²）
- "：住基人口 24,948人 （ "：住基人口 175,575人）
- "：人口密度 1,429人/km² （ "：人口密度 1,695人/km²）

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努めます。

努力目標

- より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努めます。
- 幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開します。
- 地域の社会資源を地域に還元し、活用するための橋渡し役となるように努めます。
- 郷土意識の高揚、地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努めます。

事業内容

1. 施設・備品の提供

(1) 施設の提供

①提供月日（曜日）

月（第1、3、5）・火・日曜日・祝日 9：00～17：00

水・木・金・土曜日 9：00～21：00

※使用の受付は原則として、2ヵ月前の月初めから予約開始

（予約開始日の午前9時から抽選。抽選後は先着順に受付。回数制限なし）

②休館日 毎月 第2・4月曜日、年末年始

(2) 備品の提供

①館内での利用に支障のない範囲で、備品・器具等の貸出しを行います。

②佐倉市市民部の所管する子ども御輿、イベントテントの貸出し事務の一部及び保管を取り扱います。

2. 学級・講座・講習会・見学会

受講者の対象別に家庭教育、青少年教育、成人教育の各事業にわけて実施します。

3. その他の事業

広報、体育・レクリエーション、図書、団体育成、情報提供、人材活用、個人学習などの事業を実施します。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

年度 区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用件数 (件)	3, 219	3, 324	3, 463	3, 362	3, 353
利用人数 (人)	34, 037	35, 951	36, 015	36, 670	37, 366
開館日数 (日)	333	334	334	333	333

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	ぽっぽちゃんくらぶ	2歳児と保護者 40組(20組×2 コース)	【前期】 5月～7月 12回:10組 【後期】 10月～12月 12回:9組	親子で一緒に運動や絵本・手遊び・工作などを楽しみ、幼児の様々な発達を促す。また、家族の参加日を前期後期それぞれ2回設け、保護者だけでなく、家族ぐるみの交流も図る。(25年度より募集枠を半年ごとから年度に拡大)
	親子体験教室	親子(小学生と 保護者)12組	5月～10月 5回 ① 5/26: 9組 ② 6/ 2: 9組 ③ 7/ 7: 9組 ④ 9/ 8: 9組 ⑤10/20: 7組	屋外活動やもの作りなど、計画から準備までの全てを親子で協力して行い、親子の交流を図る。
	親子ふれあい教室	幼児と保護者/ 小学生と保護者 各10組	幼児:7月2回 ① 7/ 5: 6組 ② 7/16: 6組 小学生:7月 2回 ① 7/20: 4組 ② 7/27: 7組	幼児や小学生が親子で一緒に体操や料理を体験することで身体の発達を促し、家族の係わり方を学ぶ。また、保護者同士の交流や情報交換を図る。各対象2回ずつ4回実施。
	家庭教育共通事業(食の大切さ)	小学生以上の保護者 20人	12/17 1回:19人	正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶ。本年のテーマは簡単に出来る野菜を使ったヘルシーなお菓子作り。
青少年教育	通学合宿	根郷地区の小学校 4年生～6年生 30人	6/23～6/26 3泊4日 1回:30人	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活を体験することで自主性・協調性などを高め、生きる力を育む。また、事業に協力する各世代の地域住民・学生との交流を図る。

体験学習・ものづくり	小学生 15～20人	おもしろ科学 実験隊 6～12 月 7回 16人 ①6/ 1: 14人 ②7/ 6: 15人 ③8/ 3: 13人 ④8/24: 14人 ⑤10/5: 15人 ⑥11/2: 14人 ⑦12/7: 14人 勾玉作りに挑 戦 8/5 1回:19人 子ども水彩画 教室 8月 2回: 16人 ①8/8:16人 ②8/9:16人 夏休み子ども 版画教室 8/4 1回:13人	体験型事業として 「おもしろ科学実験隊」7回、 「勾玉作り」1回、 「水彩画教室」2回、 「版画教室」1回 を開催し、子どものやる気や自主性・協 調性を養う。
映画鑑賞会	幼児～小学生 40人	①8/6 1回:59人 ②3/27 1回:80人	名作映画などの映像教材を通じて子ども たちの心の健全育成を図る。(夏・春休 みに実施)
クリスマスコン サート	地域住民 40人	12/22 1回:35人	音楽鑑賞等を通じて子どもたちの心の健 全育成を図る。
佐倉っ子塾 共通講座Ⅰ(環 境講座)水辺観 察会	地区の小学生 20人	7/30 1回:18人	市内の印旛沼などの水辺環境について、 講義や野外観察を行い、自然環境への意 識を育む。
佐倉っ子塾 共通講座Ⅱ(創 造力養成講座)	地区の小学生及 び保護者 10組	8/21 1回:6組	地域の産業や文化など体験を含めて学習 し、子どもの創造力や研究心などを育む。 (京成電鉄 宗吾車両基地見学)

成人教育	寿大学	60歳以上 120人	5月～3月 (8月を除く) 10回:144人	健康、地域、文化等幅広い分野を学びながら、レクリエーション活動などで参加者同士の交流を図る。
	大人の教遊び	成人 10人	① 7/13: 4人 ② 7/20: 4人	普段公民館を利用しない年齢層を対象とする講座。円周率や因数分解など数について面白く楽しく学ぶ。
	健康づくり講座	成人 40人	11月 4回 ①11/ 6:28人 ②11/13:24人 ③11/20:21人 ④11/27:25人	QOL (Quality of Life/生活の質) 向上を目指し、日常生活の中で簡単に出来る運動を中心に学び、健康の維持増進を図る。
	人権講座	成人 20人	1/14 1回:4人	現代社会に潜在する人権問題(高齢社会と人権)を学び、差別意識解消の一助とする。
	パソコン自由利用	成人 各回 20人	4月～3月 24回(月2回) ① 4/14: 6人 ② 4/28: 6人 ③ 5/12: 4人 ④ 5/26: 6人 ⑤ 6/ 9: 5人 ⑥ 6/30: 5人 ⑦ 7/14: 4人 ⑧ 7/28: 7人 ⑨ 8/11: 4人 ⑩ 8/25: 9人 ⑪ 9/ 8: 8人 ⑫ 9/29: 9人 ⑬10/13: 4人 ⑭10/27: 4人 ⑮11/10: 5人 ⑯11/24: 5人 ⑰12/ 8: 4人 ⑱12/22: 3人 ⑲ 1/12: 1人 ⑳ 1/26: 3人 ㉑ 2/ 9: 0人 ㉒ 2/23: 5人	ボランティアを配置し、パソコンの初心者が自由にパソコンに触れられる場を提供する。

佐倉学			㉓ 3/9: 3人 ㉔ 3/30: 3人	
	地域づくり入門講座(防災講座)	成人 20人	2月14日 1回:大雪のため中止	地域住民の防災意識を向上させる機会とする。避難訓練と講義を予定。
	佐倉学入門講座 近代の佐倉講座	成人	航空黎明期のパイロット 9/14 1回:64人 文学にみる佐倉 12/13 1回:45人 大正期を駆け抜けた夭折の家具デザイナー 森谷延雄 2/7 1回:15人 寺崎・太田の史跡を訪ねて 11/30 1回:20人 楽しく見て学ぶ鉄道講座 11月～12月 3回 ①11/21:17人 ②11/28:20人 ③12/ 5:38人	佐倉をテーマに学び、郷土などを知ってもらう機会とする。 「佐倉の先駆者」4回 (講座3回、体験講座1回)、 「鉄道講座」3回 を実施。
	体験・ものづくり講座	成人 各回10人	こんにやく作り 12月2回 ①12/6:19人 ②12/13:18人 佐倉子どもかるた教室 1/18 1回:4組14人	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得ながら、 「こんにやく作り講座」2回、 「佐倉子どもかるた教室」1回実施。 講座を通じて地域住民の交流を図る。
根郷探訪	成人 20人	5月 1回 5/11:17人 11月 1回 11/9:13人	郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び、郷土愛を高め、地域を見直す機会とする。 春と秋に野草観察会を実施。	

コミュニティ事業	さくら学び塾 日常生活の中の 数学	成人 20人	11/3～1/12 5回 ①11/3:24人 ②11/17:22人 ③12/1:19人 ④12/15:11人 ⑤1/12:16人	日常生活で使われている緊急地震速報や バーコードのしくみなどを理解し、数学 についての興味を引き出す。
団体育成	根郷地区社会教育関係団体への 支援	該当団体	通年	南部地区子ども会育成会連絡協議会、根郷地区青少年育成住民会議及び各種団体の活動を支援する。
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	4月～5月 2回 74団体	公民館の活動について理解を求めるとともに、利用団体からの意見、要望を伺う。また、グループ活動の意義の理解を深める。
人材育成	学生ボランティア育成	中学生・高校生	随時	中学生・高校生に主催事業への協力を呼びかけ、若年層にも地域の輪を広げてゆく。
	講師の公募	成人	随時	地域の人材を活用し、公民館事業を進めることをめざして次年度の講師を一般公募する。
人材育成	ボランティアの育成	成人	随時	主催事業（郷土史・パソコン指導など）や施設の環境美化に協力してくれるボランティアを育成及び活用する。
広報	根郷公民館だより	根郷地区の各世帯各事業所	4/15、9/10 2回 各10,900部	公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行する。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年 1人10冊 2週間まで 人数553人 貸出1,281冊 返却8,952冊	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行う。また、図書コーナーの蔵書の入替えを500冊ずつ、2回行った。
その他	夏休み自習室	小学生～成人	7/21～8/31 延べ41人	夏休みの期間中、学生等が個人学習に利用できる部屋を開放する。
	卓球室開放	幼児～一般	4月～3月 第1日曜日 12回 ①4/7:7人	家族や友人らと気軽にスポーツ（卓球）を楽しむ場を提供する。

		② 5/5: 6人 ③ 6/2: 7人 ④ 7/7: 9人 ⑤ 8/4: 9人 ⑥ 9/1: 9人 ⑦10/6: 8人 ⑧11/3: 6人 ⑨12/1: 9人 ⑩ 1/5: 9人 ⑪ 2/2:15人 ⑫ 3/2:14人	
展示スペースの開放	一般	通学合宿の写真展示 6/26～7/26 夏休み子ども版画教室作品展示 8/7～8/25 子ども水彩画教室作品展示 8/12～8/25 佐倉子どもかるた作品展示 1/23～2/9 七彩会作品展示 2/3～3/13 群青会作品展示 3/14～5/9	サークルや地域住民などにロビー内の展示スペースを提供。

1. 家庭教育事業

ぼっぼちゃんくらぶ

①開設趣旨 絵本の読み聞かせや手遊び、工作など、幼児の想像力や豊かな心を育てる上で重要な学習内容を通して親子で楽しむ機会を提供する。また、体を動かす楽しさや同年齢の子どもと触れ合うことで、幼児期的人格形成を促すことを目的とする。尚、講座が終了しても話し合えるような受講者同士の仲間づくりを図り、子育てにおける親と子の関わりを考えた。

②募集対象・募集人数

前期 平成22年4月2日～23年4月1日生まれの子と保護者20組40人

後期 平成22年4月2日～23年4月1日生まれの子と保護者20組40人

○保育ボランティア ちゅんちゅんくらぶ 前期6人・後期8人

③学習目標

1. 絵本の読み聞かせを通して幼児の想像力や豊かな心を育てる。

2. 運動や遊びを通し、親子の関係、地域とのかかわり、子育てについて考える。

④プログラム

(前期)

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	5月 2日 (木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。折り紙でチュールリップを作った。	おはなし会 メープル
2	5月 9日 (木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。折り紙で作った魚で魚釣りをした。(色をぬる、切る、動きをつける)	
3	5月16日 (木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。幼児の手形をとって、どの位成長したか確かめた。	
4	5月19日 (日) 10:00～11:30	家族参観日。手遊びと絵本の読み聞かせ。トイレットペーパーの芯でロケットを作り、飛ばした。	
5	5月23日 (木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。手作りのきっぷで電車ごっこをした。	
6	5月30日 (木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。紙コップで、不思議なお化けを作った。	
7	6月 6日 (木) 10:00～11:30	投げたり、ついたり、転がしたり・・・。 ボールを使って遊んだ。	小林 友香、 結城 玲美
8	6月13日 (木) 10:00～11:30	タオルを使って、楽しく体操した。	小林 友香、 結城 玲美
9	6月20日 (木) 10:00～11:30	フープで楽しく体操した。	田中 悠里、 結城 玲美

10	6月27日(木) 10:00~11:30	マット、平均台などにチャレンジした。	小林 友香、 結城 玲美
11	6月30日(日) 10:00~11:30	家族参観日。新聞紙を使っていろいろ遊んだ。	山岸 千佳、 結城 玲美
12	7月 4日(木) 10:00~11:30	みんなでミニ運動会をした。	小林 友香、 結城 玲美

(後期)

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	10月 3日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。折り紙でチュールリップを作った。	おはなし会 メープル
2	10月10日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。折り紙で魚を作った。(色をぬる、切る、動きをつける)	
3	10月17日(日) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。手形をとって、どのくらい大きくなったか確かめた。	
4	10月24日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。手作りのきつぷで電車ごっこをした。	
5	10月27日(日) 10:00~11:30	家族参観日。手遊びと紙芝居。トレットペーパーの芯でロケット作り、飛ばした。	
6	10月31日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。紙コップで、不思議なお化けを作った。	
7	11月 7日(木) 10:00~11:30	投げたり、ついたり、転がしたり・・・。 ボールで使って遊んだ。	小林 友香、 結城 玲美
8	11月14日(木) 10:00~11:30	タオルを使って、楽しく体操した。	山岸 千佳、 結城 玲美
9	11月17日(日) 10:00~11:30	家族参観日。新聞紙を使っていろいろな遊びをした。	田中 悠里、 結城 玲美
10	11月21日(木) 10:00~11:30	フープで楽しく体操した。	田中 悠里、 結城 玲美
11	11月28日(木) 10:00~11:30	マット、平均台などにチャレンジした。	小林 友香、 結城 玲美
12	12月 5日(木) 10:00~11:30	みんなでミニ運動会をした。	小林 友香、 結城 玲美

⑤講座を終えて

絵本の読み聞かせや手遊び、体操という趣向の異なる学習内容を組み合わせたこの講座は2歳児の様々な成長過程を見ることが出来ます。前期、後期と通して参加していただいたり、「下の子の時も参加したい。」という意見があったりと内容は好評でした。少人数ながらアットホームな雰囲気、育児経験豊かな講師や同世代の保護者と交流できたようです。また、家族参加の日は、父親、祖父母、兄弟なども加わっていただくことで、より多くの交流が生まれたようです。この講座を一つの契機として、楽しさだけでなく、悩みなども打ち明けることの出来る人間関係を広げることで、今後の家庭教育に活かしてほしいと思います。

親子体験教室

①開設趣旨 ザリガニ釣りや工作など体験活動を通じて、親子のコミュニケーションを深める機会を提供するとともに、知識や技能を身につける。

また、自分たちで、計画・準備・活動をすることにより、受講者同士や地域の方などとのつながりを深める機会とする。

②募集対象・募集人数 親子・12組

③学習目標 1. 親子のコミュニケーションを深める。

2. 自分たちで、計画・準備・活動をすることにより、受講者同士や地域の方などとのつながりを深める。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	5月26日(日) 9:00~11:00	クッキングの時に使用する食材(なす)を自分たちで植え、コミュニケーションを図りながら、これからの活動の計画を立てた。	公民館職員
2	6月2日(日) 9:00~11:00	青空の下、親子でザリガニ釣りに熱中した。	
3	7月7日(日) 9:00~11:00	親子でマツボックリなどを使い、インテリアに使える置物を作った。	
4	9月8日(日) 9:00~11:00	親子で収穫した野菜を使い、カレーと味噌汁を作り、おいしく食べた。	
5	10月20日(日) 9:00~11:00	親子で卓球とドッチビーを楽しんだ。	

⑤講座を終えて

親子で協力して様々な体験活動を発案したことで普段以上に親子間の会話が弾み、全体として和やかな講座となったようです。また、ザリガニ釣りや工作、調理などをとおして、親子だけでなく、受講者同士のコミュニケーションを図ることも出来たので、今後も継続して親子の交流を深めてもらいたいと思います。

親子ふれあい教室（幼児）

- ①開設趣旨 幼児の心身の健全な発育を促す。
- ②募集対象・募集人数 幼児と保護者・各10組
- ③学習目標 親子のふれあいと友達づくり
- ④プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	7月 5日（金） 10:00～11:30	親子で体操をしながら、親子、友達との交流を図った。	親子ふれあい体操と 友達作りの会 佐藤 由利子
2	7月16日（火） 10:00～12:00	親子で料理をしながら、親子、友達との交流を図った。	フードコーディネーター 加藤 富美子

⑤講座を終えて

親子で体操や料理を楽しみながら、少子化の中で希薄になりがちな子ども、またはその保護者同士の交流を深める良い機会となりました。また、体操と同時に例年行っている工作では開催時期（夏）に合わせて「うちわ」を作りました。参加者からは、「友達ができました。」という声がありました。

親子ふれあい教室（小学生）

- ①開設趣旨 小学生の心身の健全な発育を促す。
- ②募集対象・募集人数 小学生と保護者・各10組
- ③学習目標 親子のふれあいと友達づくり
- ④プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	7月20日（土） 10:00～11:30	親子で体操をしながら、親子、友達との交流を図った。	ニッポンランナーズ 小林 友香
2	7月27日（土） 9:30～12:30	親子でまつりずしを料理しながら、親子、友達との交流を図った。	サークル「まつりずし」講師 今井 勝子

⑤講座を終えて

親子で体操や料理を楽しみながら、親子、また保護者同士の交流を深める良い機会となりました。

小学生からは「楽しかった。」、保護者からは「家でも一緒に遊べそう。」「充実した時間を過ごせた。」という意見がありました。

家庭教育共通事業「食の大切さ」

- ①開設趣旨 成長期の小学生を持つ保護者を対象に「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学ぶ。
- ②募集対象・募集人数 小学生を持つ保護者・20人
- ③学習目標 正しい「食」の知識について学ぶ。

④プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	12月17日（火） 9：30～13：00	「キャロットケーキ」や「おやき」など、ヘルシーなおやつ作りを学んだ。	栄養士 六崎 美知代

⑤講座を終えて

3時のおやつは家族のコミュニケーションを深める大事な機会であり、栄養学的にも重要です。そこで、簡単に出来る野菜を使ったヘルシーな「お菓子作り」（講義と実習）について学びました。

2. 青少年教育事業

通学合宿

①開設趣旨 異年齢の子どもたちが、親元を離れ、共同生活体験をしながら通学する。

②募集対象・募集人数 根郷地区の小学4年生～6年生・30人

③学習目標 共同生活体験をすることにより自主性・協調性を高める。

④プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	6月23日（日） 10：00～	開講式を行った後、4日間の献立を決定した。 公民館利用サークルの指導の下、そば打ちを体験した。 共同生活体験をした。	小林 由喜子（献立の作成アドバイス）、 地域協力者、 学生ボランティア
2	6月24日（月）	共同生活体験をしながら通学した。	地域協力者、 学生ボランティア
3	6月25日（火）	共同生活体験をしながら通学した。	
4	6月26日（水） ～18：30	共同生活体験をしながら通学した。 閉講式を行った後、4日間の成果を発表した。	

⑤講座を終えて

今年で「通学合宿」も11年目となり、学校・地域の中でもすっかり定着してきて、多くの協力者に恵まれるようになりました。保護者からの事後アンケートで「家の手伝いをするようになった」、「地域の方と挨拶するようになった」というものが多数あったことから、参加児童の自主性・協調性は高まっているようです。また、地域協力者の方から「参加児童ともっと交流を図りたい」という意見があったことから、今年も親睦の意味も含め、初日に地域協力者の方に昼食のカレーライスを作っていただき、参加児童と一緒に食べながら交流を深めました。将来、参加者の中から学生ボランティアとして参加してもらえることを願っています。

おもしろ科学実験隊

- ①開設趣旨 子どもたちが五感のすべてを使って、遊びながら科学の楽しさ、不思議さに触れる。
- ②募集対象・募集人数 小学4年生～6年生・16人
- ③学習目標 実験を通して、新しい発見をする。
- ④プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月 1日 (土) 13:00～15:00	酸とアルカリを混ぜるとどんな変化が起こるかなどの実験をした。	村上中学校教諭 西澤 保雄
2	7月 6日 (土) 13:00～15:00	ポリビニルアルコールをもとにスライムを作り、様々な実験をした。	千葉東高等学校教諭 川上 義孝
3	8月 3日 (土) 13:00～15:00	水を入れたペットボトルに、空気の入ったウキなどを入れ、「浮いてこい」を作り、その仕組みを調べた。	千葉工業大学准教授 半沢 洋子
4	8月24日 (土) 13:00～15:00	「自動浮沈子」を作り、変化や仕組みを調べた。	千葉東高等学校教諭 川上 義孝
5	10月 5日 (土) 13:00～15:00	水の汚れ具合を調べた。 電気の大きさを体感した。	村上中学校教諭 西澤 保雄
6	11月 2日 (土) 13:00～15:00	温度の変化の実験をした 液体窒素について調べた。	元臼井南中学校校長 土井 仁
7	12月 7日 (土) 13:00～15:00	静電気の実験をした。 バルーンヘリコプターを作った。	筑波大学准教授 小林 正美

⑤講座を終えて

今年14年目となる「おもしろ科学実験隊」は、子どもたちに常に新鮮な驚きを提供できるよう、様々な実験を取り入れてきました。その中でも「超低温の世界」には、受講生も驚いていました。どの講師も子どもたちの期待にこたえる不思議で楽しい実験を用意して下さい、大変充実した講座となりました。

勾玉作りに挑戦！

- ①開設趣旨 勾玉作りを通して、縄文時代の生活に触れる機会とする。
- ②募集対象・募集人数 小学3年生～6年生・20人
- ③学習目標 勾玉作りや講師の話聞き、縄文時代の生活に触れる。
- ④プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月5日 (月) 10:00～12:00	勾玉作りや講師の話聞き、縄文時代の生活に触れた。	千葉県教育庁 教育振興部文化財課 文化財保護室 四街道分室 山崎 清美

⑤講座を終えて

子どもたちは講師の話を中心に熱心に聞いた後、夢中で勾玉を作っていました。縄文時代についての質問もたくさん出て、講師持参の展示物にも興味津々でした。こうした体験がきっかけとなって、少しでも子どもたちが昔の生活体験への好奇心を抱いてくれればと思います。

子ども水彩画教室

①開設趣旨 水彩画を描くことにより、やる気や自主性を育てる。

②募集対象・募集人数 小学3年生～6年生・15人

③学習目標 水彩画の描き方を学び、絵を描く楽しさに触れる。

④プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月8日 (木) 10:00～12:00	色相の説明、カラーチャートシート作成、付箋で貼り絵の後、下絵作成。	ワールサークル会員 (公民館利用サークル)
2	8月9日 (金) 10:00～12:00	前回のおさらい後、着彩して、水彩画を仕上げる。	

⑤講座を終えて

今年も根郷公民館で活動しているサークル(ワールサークル)に指導のご協力をいただきました。今回は「自分のお気に入りを描こう」をテーマに風景や飼っているペットなどを思い思いに絵を描き、絵の描き方と共にその構成や見せ方の工夫について学びました。この講座が、少しでも子どもたちの創造力や自主性を育てるのに役立てればと思います。

夏休み子ども版画教室

①開設趣旨 専門の刷り師に教わりながら、版画づくりに挑戦することにより、やる気や自主性を育てる。

②募集対象・募集人数 小学4年生～中学3年生・15人

③学習目標 初心者にも扱いやすい新素材を使い、版画づくりに挑戦することで版画を刷る楽しさに触れる。

④プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月4日 (日) 13:00～16:30	下絵から製版、インクを練って刷るところまで学習	白井版画工房 白井 四子男

⑤講座を終えて

子どもたちは、プロの刷り師の指導のもと、「リトグラフ(平版)」と「ドライポイント(凹版)」という二種類の版画技法について、下絵制作から製版、紙に刷るところまでほぼ半日で学習しました。かなり忙しいスケジュールでしたが、「他の技法もやってみたい」というアンケートもあり、子どもたちの版画への関心は高まったようです。

子ども映画鑑賞会

- ①開設趣旨 名作映画会などの映像教材を通じて友達との輪を広げ、青少年の健全育成を図る。
- ②募集対象・募集人数 幼児～小学生・1回40人
- ③学習目標 名作映画鑑賞を通じて青少年の交流と健全育成を図る。
- ④プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月 6日 (火) 10:00～12:00	夏休みに子ども向け名画鑑賞を実施した。 「ジャングル大帝」(96分)	公民館職員
2	3月27日 (木) 10:00～12:00	春休みに子ども向け名画鑑賞を実施した。 「トムとジェリー」他(90分)	

⑤講座を終えて

地域の幼児から小学生までを対象に映画鑑賞会を実施しました。家族や友人への思いやりを題材とした名作映画や交通安全に関する映像を通じて、子どもたちに思いやりの心や安全に対する意識を育んでもらえたらと思います。

クリスマスコンサート

- ①開設趣旨 子どもたちクリスマスのひととき、楽しく過ごしてもらえるように地元吹奏楽団演奏によるクリスマスコンサートを実施する。
- ②募集対象・募集人数 幼児～小学生・80人
- ③学習目標 音楽鑑賞を通して、子どもの心の健全育成を図る。
- ④プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	12月22日 (日) 14:00～15:00	地元吹奏楽団の演奏を聴き、クリスマスのひとときを過ごした。	佐倉ウィンドアンサンブル 会員

⑤講座を終えて

幼少期より、オーケストラによる生の演奏を聴く機会に恵まれることで感性が磨かれ、音楽や楽器についての知識も多く得られるように企画しました。子どもたちの様子から、今後更に興味も持ってもらえるのではないかと期待しています。

2-1 佐倉っ子塾

共通講座 I 「環境講座」

水辺観察会

- ①開設趣旨 自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに環境保全の重要性を認識する機会とする。
- ②募集対象・募集人数 小学4年生～6年生 20人
- ③学習目標 印旛沼や鹿島川の水などを使って環境意識を育む。
- ④プログラム

回	月日 (曜日)	学習内容	講師
1	7月30日 (火) 9:00～16:00	印旛沼や鹿島川に注ぐ水の流れや、生き物について学んだ。	千葉県環境財団 職員

⑤講座を終えて

郷土の印旛沼や環境をよく理解してもらおうと企画・実施した講座。印旛沼を取り上げ、水源域に生息する水生生物について、現地で観察しました。また、各流域の水質を比較することで、印旛沼の抱えている問題点などについても理解してもらえたと思います。

共通講座 II 「創造力養成講座」

車両基地へ行こう！

- ①開設趣旨 地域の産業や文化などについての体験学習をし、子どもの創造力や研究心を育む。
- ②募集対象・募集人数 小学生と保護者・10組
- ③学習目標 日頃利用している鉄道が、どのように整備され、安全運行を徹底されているかを学ぶ。
- ④プログラム

回	月日 (曜日)	学習内容	講師
1	8月21日 (水) 9:45～12:00	車両整備の方法や安全運行を行うための姿勢などを学んだ。	京成電鉄株式会社 車両部整備課 社員

⑤講座を終えて

日頃利用している鉄道が、どのように整備されているのか、その一端を知ることができました。また、鉄道会社の安全運行に対する強い姿勢が感じ取れました。子どもたちにとって、駅やホームでの自分の行動を見直す機会に、また、働くことの意義についても実感する機会となったのではないかと思います。

3. 成人教育事業

寿 大 学

①開設趣旨 現在、激しく変貌していく現代社会において、少子高齢化が深刻な社会問題となっています。このような状況の中で高齢者が充実した生活を過ごすには、健康保持・生活文化・地域問題などについて正しく情報を収集し、学習する必要性があります。寿大学は、こうした学習や情報取得・意見交換の場としての提供を目指しています。

②募集対象・募集人数 60歳以上の市民・120人

③学習目標 高齢者が生きがいを持って充実した生活を過ごせるよう、健康保持、生活文化、地域問題などについて学ぶとともに、互いの交流をはかる。

④プログラム

回	月 日 (曜)	学習内容	講 師
1	5月17日 (金) 9:30~12:00	1年間の予定説明等	館長 他
		・班の確認・自己紹介 ・運営委員の選出等	
		グループ討議「今後の班活動について」	
2	6月21日 (金) 9:30~12:00	城址跡遺跡	(財) 印旛都市文化財センター 日暮 冬樹
3	7月19日 (金) 9:30~12:00	悪質商法から身を守ろう ～手口を知って、被害の防止～	佐倉市消費生活センター 後藤 英子
4	9月20日 (金) 8:00~17:00	野田市方面 (関宿城博物館等)	野田市教育委員会 社会教育課
5	10月18日 (金) 9:30~12:00	堀田正睦の「天保の改革」に見る佐倉藩校と順天堂	NPO法人佐倉一里塚 理事長 山倉 洋和
6	11月15日 (金) 9:30~12:00	アコーディオン演奏と歌声コンサート	アコーディオンサークル 風車
7	12月20日 (金) 9:30~12:00	「男はつらいよ 寅次郎相合い傘」(1975年)	公民館職員
8	1月17日 (金) 9:30~12:00	私の生きがい	班ごとに討議
9	2月21日 (金) 9:30~12:00	高齢期の歯と健康について	歯科医師 柳瀬 益正
10	3月14日 (金) 9:30~12:00	・時事問題について ・1年間のまとめ	NHK千葉放送局 報道部 神野 敬、 館長 他

⑤講座を終えて

寿大学は昭和46年に開設、今日まで継続されている佐倉市立公民館の高齢者事業としては最も古く歴史のあるものです。当初は根郷地区の住民だけを対象としていましたが、現在では市内全域にその対象を広げています。

本年も60歳以上の高齢者144名(61歳～89歳/平均年齢72.8歳)が健康、地域、文化等幅広い分野を学びながら一人一人生きがいを探すと共に、異世代とレクリエーション活動する機会を設けるなど、孤立することのないように交流活動を支援しました。

今後も、高齢者が学び、交流する場としての役割を保持しながら、受講生自らが取材・編集・発行している『寿だより』の活動のように受講者の自主的な活動に展開していくように支援していきたい思います。

大人の教遊びとあやしい実験教室

①開設趣旨 普段、公民館に来られない世代を対象に講座を実施し、公民館への関心を高めてもらう機会とする。

②募集対象・募集人数 成人・10人

③学習目標 数や理科(実験)への興味を引き出す機会とする。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月13日(土) 10:00～12:00	円周率についての様々な考察	千葉東高等学校教諭
2	7月20日(土) 10:00～12:00	分数で表せる数を「有理数」、表せない数を「無理数」とした場合の様々な考察。	川上 義孝

⑤講座を終えて

普段、公民館にほとんど来館しない世代を公民館へ呼び込もうと企画しましたが、思うように集まりませんでした。しかし、アンケートでは「子どもと共通の話題ができた」、「もう一度勉強し直す」などの意見があり、受講者の興味は引き出すことができたと思います。

健康づくり講座

①開設趣旨 日常生活の中で簡単にできる運動を学び、健康の保持増進を図る。

②募集対象・募集人数 成人・40人

③学習目標 QOL(生活の質)向上のために有酸素運動など、健康の保持増進について学ぶ。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	11月 6日(水) 10:00～11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学んだ。	

2	11月13日(水) 10:00～11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学んだ。	A F A A 認定インストラクター 森 たか子
3	11月20日(水) 10:00～11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学んだ。	
4	11月27日(水) 10:00～11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学んだ。	

⑤講座を終えて

世界的なフィットネスインストラクター教育団体のA F A Aから認定された森たか子氏を講師に迎え、日常生活の中で簡単に出来る運動、特に有酸素運動やストレッチを中心に学びました。受講者からは「健康のために1年を通して講座を実施して欲しい」などの感想が出るなど、健康の保持増進に対する関心の強さを感じました。

人権講座（高齢者と人権～高齢者は、いつから弱者にされたのか～）

①開設趣旨 高齢者と人権について考え、現代社会に潜在する様々な人権問題を考える。

②募集対象・募集人数 成人・20人

③学習目標 高齢者と人権について考え、差別意識解消の一助とする。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	1月14日(火) 10:00～12:00	高齢者を取りまく状況について理解を深めた。	千葉県人権啓発センター常務理事 鎌田 行平

⑤講座を終えて

講義を通して、社会の変化に伴う高齢者問題の発生起源、介護にかかわる高齢者の人権問題などについて学びました。受講者からは活発に意見が上がり、差別意識解消の一助となったと思います。

パソコン自由利用

①開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

②募集対象・募集人数 成人・各回20人

③学習目標 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
24	毎月2回 (第2と最終日曜日) 10:00～12:00 13:00～15:00	各自で教材を持ち込み、各々で学習した。わからない所をボランティアに質問をした。	パソコン ボランティア

⑤講座を終えて

基本的には「ワード」、「エクセル」といった基礎的な内容について説明する講座ですが、コンピューターの進化に伴い、質問も多種多様になっているようです。受講者から「日常的な操作でわからないところを補うことができた」などの感想があり、パソコン操作のレベルアップの一助となったように思います。

地域づくり入門講座（防災講座）

- ①開設趣旨 地域住民の防災意識の向上を図る。
- ②募集対象・募集人数 成人・20人
- ③学習目標 地域住民の防災意識の向上させる機会とする。
- ④プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	1月14日（金） 10:00～12:00	避難訓練と講義を実施する予定。	市役所市民部 防災防犯課 鵜澤 裕貴

⑤講座を終えて

本講座は、地域の防災力を高めるためにも非常に重要な講座でしたが、雪による悪天候のため、残念ながら中止としました。

さくら学び塾「日常生活の中の数学」

- ①開設趣旨 公募で選ばれた市民講師と受講生が次世代への技術の継承、地域づくり、まちおこしなど新たな地域での取り組みのきっかけづくりとなることを期待して、「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾」として、開設した。
- ②募集対象・募集人数 成人・20人
- ③学習目標 日常生活で使われている物を題材にし、数字についての興味を引き出す機会とする。
- ④プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講師
1	11月 3日（日） 10:00～11:30	戦後の数字の特色 など	学習教室「あすなろ」代表 古市 正夫
2	11月17日（日） 10:00～11:30	東日本大震災に関連して（緊急地震速報ベクトルとシーベルト）など	
3	12月 1日（日） 10:00～11:30	全地球測位システム（GPS）について	
4	12月15日（日） 10:00～11:30	10年で年収が2倍になるためには	

5	1月12日(日) 10:00~11:30	日本人が発明したバーコード、豆電球で数 を表す など
---	-------------------------	-------------------------------

⑤講座を終えて

数学をとおして様々な物事を考えることを新鮮に感じてくれた参加者が多かったようです。次年度以降も、本講座のように頭の運動となるような講座を考えたいと思います。

3-1 佐倉学講座

佐倉学入門講座

①開設趣旨 佐倉（根郷地区）をテーマに歴史・文化・自然を学び、郷土愛を高め、地域を見直す機会を提供する。

②募集対象・募集人数

「航空黎明期のパイロット 飯沼金太郎」、「文学にみる佐倉連隊」、「大正期を駆け抜けた夭折の家具デザイナー 森谷延雄」は成人・50人、
「寺崎・太田の史跡を訪ねて」は成人・20人、
「楽しく見て学ぶ鉄道講座」は成人・25人

③学習目標 佐倉の歴史・文化・自然に興味を持って頂き、佐倉の新たな魅力について知っていただく。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	9月14日(土) 10:00~12:00	航空黎明期においてパイロットになり、民間航空界の発展に寄与した佐倉出身の人物の業績を紹介。	南部児童センター 所長 小暮 達夫
2	12月13日(金) 10:00~12:00	文学作品に描かれた「佐倉連隊」について解説。	満開佐倉文庫 館主 内田 儀久
3	2月 7日(金) 10:00~12:00	大正期に活躍した佐倉出身の家具デザイナーの業績を紹介。	佐倉市 文化課 学芸員 本橋 浩介
4	11月30日(土) 9:30~12:00	寺崎の密蔵院や三尊仏、太田の六地藏など、様々な史跡を巡った。	斎藤 雄、 座間 功
5	11月21日(木) 10:00~15:00	楽しく見て学ぶ鉄道講座。 佐倉の鉄道の歴史について、JR佐倉駅付近に残る鉄道遺構の見学と講義	鉄道史研究家 白土 貞夫

6	11月28日(木) 9:50~16:00	楽しく見て学ぶ鉄道講座。 京成電鉄宗吾車両基地の見学、成田駅付近に残る鉄道遺構の見学と講義
7	12月5日(木) 8:30~17:00	楽しく見て学ぶ鉄道講座。 銚子電鉄を訪ねて

⑤講座を終えて

佐倉について学ぶ講座の入門編として歴史・文化・自然と様々なテーマを設け、なるべく多くの方々に興味を持って頂けるような講座を目指しています。今年度の内容としては、大正期に活躍した二人の先駆者・パイロットの飯沼金太郎と家具デザイナーの森谷延雄、そして様々な文学作品に描かれた「佐倉連隊」を講座で取り上げました。また、体験型講座として、寺崎・太田の史跡と、明治期に初めて総武鉄道が市川ー佐倉間に開通したことから鉄道講座を実施いたしました。

郷土史は学ぶ内容が豊富で、受講生は大変熱心に話しを聞いています。これからもマンネリ化することなく、郷土の新たな側面を知ることの出来る講座として、より充実した内容を追求していくことが重要であると思います。

体験・ものづくり講座

①開設趣旨 根郷地区の人材を活用し、地元の食材を使用してのものづくりを通じて市民の交流との交流と地域への関心を高める。

②募集対象・募集人数 「こんにゃく作り」成人・各回20人、「佐倉こどもかるた教室」親子10組

③学習目標 地域の人材を活用し、自ら学び、地域づくりにつなげる。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	12月6日(金) 9:30~13:00	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦した。	あけぼのグループ 会員
2	12月13日(金) 9:30~13:00	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦した。	
3	1月18日(土) 9:30~12:00	「佐倉こどもかるた」について学び、かるた取りをした。	佐倉こどもかるた 「子都手留会」会員

⑤講座を終えて

佐倉・城下町400年事業と位置付けた、こんにゃく作りは、地域講師の協力により、地元で取れたこんにゃく芋を使用して行いました。昨年に引き続き2回実施しました。受講者からは、こんにゃく芋の栽培に関する質問も出るなど、活気ある講座となりました。地元食材の普及の一助になったように思います。

根郷探訪

- ①開設趣旨 郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び散策を交えて、郷土史を理解する。
- ②募集対象・募集人数 成人・各回20人
- ③学習目標 佐倉市の自然を散策しながら、野草や古木を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について関心を促す。
- ④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	5月11日(土) 9:30~12:00	大篠塚・小篠塚地区を散策しながら春の野草や古木を観察し、郷土の自然への関心を促した。	佐倉野草会 近藤 維久子
2	11月9日(土) 9:30~12:00	木野子地区を散策しながら秋の野草や古木を観察し、郷土の自然について関心を促した。	佐倉野草会 近藤 維久子

⑤講座を終えて

根郷地区周辺の自然や歴史を中心に紹介し、郷土に興味を持っていただけるよう実施しています。今回は、春に大篠塚・小篠塚地区、秋に木野子地区を散策し、野草や古木を観察しました。受講者からは、「何気ない野草に対しての知識が深まり大変良かった」「今後も、講座を続けて頂きたい」などという意見もあることから、今後も地域についてより深く理解していただけるよう、内容を吟味していきたいと思っています。

4. 団体育成事業

①根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようです。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成されました。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としています。主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画/運営、各種団体への助成などを行っています。

②南部地区子ども会育成会連絡協議会

近年、地区子ども会への加入が減少傾向にあるなかで、どのように運営していったら良いか、どんな運営をしたら良いかなど、地区の子ども会を支援する目的として、昭和56年に結成されました。事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

活動としては、子ども会活動に役立つゲーム講習会や子ども会の会長が集まり、意見を交換する、会長連絡会などを行っている。子ども会活動に役立つ各種備品の貸し出しも行っている。

5. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい・・・公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行した。
- 発行回数・・・年2回（4月15日、9月10日）
- 発行部数・・・各回10,900部
- 配布方法・・・各公民館・図書館の窓口及び根郷地区各世帯・各事業所に新聞折込みにより配布

6. 図書事業

- 趣 旨 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数 約3千冊

○月別貸出数・返却数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数 (冊)	103	72	119	111	123	60	114	135	141	106	100	97	1,281
返却数 (冊)	351	359	340	321	1,532	306	3,321	345	375	1,020	349	333	8,952